

# 秋保大滝植物園だより No.27 夏号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。今回は夏です。尚、バックナンバーは(公財)仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



イイギリ【水楡(大楡)】雌花  
花：6月上旬～中旬 雌雄異株。  
花卉は無く、花卉に見える黄緑のものは萼片。園内にあるのは雌株のみ。



サツキ(サツキツツジ)【阜月】品種  
花：6月上旬～下旬 十数種ある中のひとつで、芝生広場東にあり。花は枝先に1～2個つく。



アマドコロ【甘野老】花：6月上旬～中旬 園内では2か所に植栽有り。葉のわきからふたつに分かれた花柄を出し、緑白色の花を咲かせる。



アルストロメリア(ユリズイセン)【百合水仙】園芸種 花：7月中旬～下旬 花卉の一部に縞模様が入る。彩とりどりの花畑にあり。耐寒耐暑性弱い。



サルズベリ【百日紅】花：8月～9月 木登り得意な猿でも登るのが難しいほど、幹肌がツルツルしていることから名付けられた。花は長く楽しめる。



タマアジサイ【玉紫陽花】  
花：8月上旬～中旬 玉のような蕾が開き、両性花と装飾花が咲くことから名付けられた。シャクシャクの蕾に似ている。



オルレア【大花の延齢草】花：6月～7月 セリ科の一年草。大小さまざまな花びらが純白のレースのようで目をひく。彩とりどりの花畑にあり。



キキョウ 二重咲き【桔梗】  
花：7月下旬～8月上旬 花冠が二重になったキキョウ。園内では、スレン池の北側に一株あるのみ。



スノキ(カクミノスノキ)【酔の木】  
実：7月中旬～下旬 和名の由来は、先の窪んだ実の形が「白」に似ていることから。自然林に野生多くあり。



ナガバノコウヤボウキ【長葉の高野箒】  
花：8月中旬～下旬 落葉小低木。コウヤボウキとは高野山でこの木の枝を束ねて箒としたという説がある。



イヌキクイモ【イヌキクイモ】帰化植物 花：8月中旬～下旬 キクイモとの区別は難しいが、花期が早く塊茎が小さいのがイヌキクイモ。



ジャコウソウモドキ【麝香草擬き】園芸種 原産地は北アメリカ。淡紅紫色の花を下から上に向かって数個ずつつける。



コウエイホウ【紅永宝】ヤマツツジ品種  
花：5月下旬～6月上旬 採弁。ヤマツツジよりも開花が遅く、花も濃紅色。



トウグミ(ツクシグミ)【唐栗】  
実：6月下旬～7月上旬 鈴なりになった赤い実は美しい。食べられるが渋みがある。



サボンソウ【園芸種】花：7月中旬～8月上旬 ナデシコ科。サボンが多く古くから洗剤として使用。薬用植物。彩とりどりの花畑にあり。



ヘメロカリス 園芸種。花：6月下旬～7月上旬 キスゲやカンソウの仲間。花は一日花。午前中の方がきれい。花壇通路沿いに植栽あり。



ウワミズザクラ【上溝桜】  
実：8月上旬～中旬 サクラの仲間だが、花はブラシのように咲き仲間とは思えない。実は赤から黒く熟す。食べられる。



アキレア(セイヨウノコギリソウ)【西洋鯨草】園芸種  
花：6月中旬～8月中旬 ノコギリソウの仲間。花壇、mix フラワー内に多くあり。



シロバナタチギボウシ【白花立擬宝珠】  
花：7月下旬～8月下旬 コバギボウシの変種で葉が立ち上がる。花色は普通淡紫色で、濃い紫の筋がある。



モミジガサ(シドケ)【紅葉傘】  
花：8月中旬～下旬 山菜名はシドケ。木陰に好んで生える。頭花は円錐花序に多数つく。